



峰区 2010年中国上海万博で  
神楽を披露 (8/18)

# 第33回 花壇コンクール 第18回 街角の花コンクール

8月10日（火）に審査が行われ、『花壇』は小杉原花の親睦会が、『街角の花』は山本さんが最優秀賞に輝きました。



最優秀賞 花の親睦会（小杉原）

**【最優秀賞】**  
花の親睦会（小杉原）  
**【優秀賞】**  
活性会（池代）  
常盤会（伏倉）

**花壇**コンクールは、花いっばい運動の推進や住民の手によるふるさとづくりの推進、花壇づくりを通しての地域コミュニティの推進を目的に昭和54年から行われ、今年で33回目となりました。  
審査は、参加した19団体の花壇を1日かけて回り、取り組み度、努力度、創意工夫度、技術度の4項目を採点しました。



最優秀賞 山本善雄さん（指川）

**【優秀賞】**  
黒田福市さん（東区）  
花愛好会（峰輪）  
**【問合せ】**  
企画観光課（42）3964

**街角の花**コンクールは、団体だけでなく、個人や事業所の花壇やプラントナーなどについても評価する機会を設け、花いっばい運動の更なる推進を図ろうと行われているものです。  
審査は、花壇コンクールと同日に行われ、取り組みの様子や工夫していることなどについて採点しました。

## 野焼きによる火災に注意

松崎町では、7月中に野焼きによる火災が2件連続して発生しました。

松崎町では、過去3年間に発生した火災は、すべて野焼きが原因で発生しています。

野焼きは、枯れ草等に燃え移ると、予想以上に延焼が早く、大火災になってしまうことがあります。ひとたび火災が発生してしまうと、近隣住民に迷惑と不安を与えるだけでなく、消防や警察など多くの方の出勤と協力が必要になります。

また、火災まで至らない場合でも、野焼きによる悪臭や煙害は、周辺の生活環境や人体へ悪影響を与えます。

こうしたことから、できるだけごみは燃やさずに可燃ごみとして集積所に出すか、クリーンピア松崎へ搬入していただきますようお願いいたします。

野焼きを行わなければならない場合は、以下の点に十分注意してください。

○ビニールやゴムなどの有害物質を発生するものを混ぜ

て燃やさない。

○近隣の迷惑にならないように時間帯、量、風向きなどを十分に考える。

○枯れ草の多い場所など火災の起こりやすい場所では行わない。



野焼きにより発生した火災の消火活動

○風が強いときや空気が乾燥しているときは行わない。

○野焼き中はその場を離れない。もし離れる場合は、完全に火を消してから。

○消火のために水バケツ、水道ホース等を準備する。

**【問合せ】**  
総務課（42）3963  
生活環境課（42）3969




**棚田サミット便り 第7号**  
**棚田サミットでのおもてなし**


**交流会・棚田見学会**

第16回全国棚田（千枚田）サミットが開催される10月22日（金）には、開会式、基調講演、分科会に引き続き、全国から参加した市町村、保全団体、地元などの皆様で全体交流会が行われます。

交流会では、伊豆松崎牛原太鼓の演奏や石部三友社による荒神払いなどの郷土芸能が披露されるほか、地場産品が当たる抽選会も計画されています。



昨年交流会の様子



昨年見学会の様子

また、女性会、JA女性部によるキビナゴやヒジキ、天草など地元の食材を使った料理をはじめ、料理飲食店組合による料理が提供されるほか、松崎ブランドに認定されている食品の試食や販売が行われ、全国から参加した皆様に松崎の味を楽しんでいただきます。

翌23日（土）の棚田見学会では、現地へ向かうバスの中でボランティアの方々による町内案内が行われます。

また、石部の棚田では地区女性会などにより伊勢海老の味噌汁やトコロテン、オリーブ茶などのサービスを行い、富士山や南アルプスの素晴らしい景色を眺めながら、地元の味を楽しんでいただけるように計画しています。


**閉会式**

棚田見学会終了後、環境改善センターにおいて分科会のまとめ、閉会式が行われることになっていますが、昼食に出されるお弁当も黒米や川のみずき、桜葉、ひじきなど地元の食材にこだわった料理を提供できるように、調理師協会と業者が棚田サミットに向けて準備しています。

また、会場では地場産品の販売コーナーや近隣市町などのPRコーナーも設置されます。

棚田（千枚田）サミットの期間中は、全国各地から多くのお客様が松崎町を訪れますので、町全体で温かく迎えましょう。松崎ならではの心に残るサミットが開催できるように、皆様のご理解、ご協力をお願いします。


**棚田ホームページ  
リニューアル**

石部棚田のホームページは、平成12年に開設されました。今回、棚田サミットの開催と棚田保全活動10年の節目を機に、リニューアルし、8月1日から公開しました。

このリニューアルは、棚田サミット実行委員会が、石部の棚田保全にも関わっているNPO法人棚田ネットワークに委託して実施したものです。今回のリニューアルでは、第16回全国棚田（千枚田）サミット紹介の特設ページを追加するとともに、サミット後も永続的・効果的に石部棚田や地域情報を発信できるようにしました。

ホームページでは、棚田の魅力、現状、保全活動とそれに携わる人、支えるボランティアの声などを積極的に紹介し、保全への協力の呼びかけや観光客へのPRを行います。詳しくは、赤根田村百笑（ひやくしょう）の里「石部棚田へ行こうよ！」ホームページ（<http://www.ishibu-tanadacom>）をご覧ください。


**棚田百笑くらぶ  
棚田の秘密探検**

棚田百笑くらぶ7月行事の棚田の秘密探検が7月25日（日）に開催され、くらぶ員や児童保護者など31人が参加しました。

当日は、元三浦小学校の教頭先生の石田信稔さんを講師に、棚田を取り巻く森林の役割や水循環などについて、説明を受けました。子ども達は、棚田へ水を引き込む仕組み、昔ながらの遊びである笹舟作り、水鉄砲などを通して、水の不思議さや大切さを学びました。



棚田の秘密探検

**【問合せ】**  
 企画観光課（42）3964

## 松崎から帯広へ

西島敏博松崎小学校長を団長とした小学生ら14人が、7月28日から30日まで帯広市を訪問しました。

一行は、帯広市役所への表敬訪問や依田勉三翁のお墓参りなどの他、パークゴルフやアイススケートで帯広の子どもたちと交流を深めました。

また、ジャガイモ掘りや牧場でのアイススクリーム作りなど帯広ならではの有意義な体験学習もできました。

この3日間の訪問で、依田勉三翁の偉大な功績に触れると共に、参加者にとって素晴らしい夏の思い出を作ることができました。



帯広空港で



松本城で

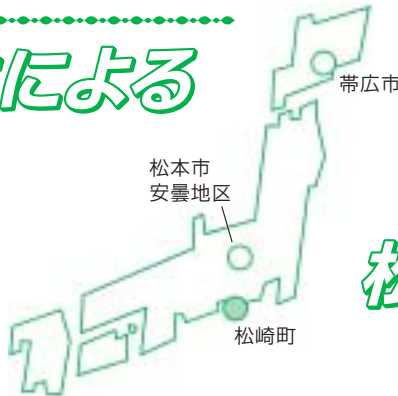
## 松崎から安曇へ

山崎和也松崎中学校長を団長とした松崎中学校2年生の一行39人が、8月23日から25日まで松本市安曇地区を訪問し、歓迎を受けました。

一行は松本市到着後、重文岩科学校と姉妹館提携を結んでいる旧開智学校や松本城を見学しました。

翌日は、松本市自然ガイドの皆様の案内で河童橋や穂高連峰など上高地の雄大な自然を満喫し、午後からは安曇地区の中学生と交流会を行いました。交流会ではマレットゴルフを行い、お互いの親睦を深めました。

## 小・中学生による



## 帯広市へ 姉妹都市交流

## 松本市安曇地区へ 地域交流

## 安曇から

松本市安曇地区の中学生ら22人が、7月20日から22日までの3日間の日程で来町しました。

一行は、役場を表敬訪問した後、長八美術館や重文岩科学校など町内の文化施設を見学しました。

訪問中は好天にも恵まれ、岩地海岸では地引き網や海水浴を楽しみ、午後からは松崎海岸で松崎中学校2年生と交流会を行いました。

交流会では、両市町の中学生混合チームによるドッジボールや、カヌーの試乗などを楽しんでお互いの交流を深めました。

## 帯広から

帯広市子供親善訪問団の小学生ら12人が、8月3日から



勉三翁のお墓参り



松崎海岸でシーカヤックを体験

5日までの3日間の日程で松崎町を訪れました。

一行は、役場を表敬訪問した後、光る泥だんご作りの体験や重文岩科学校などを見学しました。中でも、依田勉三翁にゆかりのある三余塾資料館や、大沢温泉ホテル訪問では、勉三翁の話しに熱心に耳を傾けていました。

その後、松崎の子どもたちとカヌーや海水浴を行い、夜はミニホームステイでお互いの交流を深めるなど、楽しい夏休みの思い出を作ることができました。

### 【問合せ】

教育委員会（42）3971



# 夏休み体験学習

教育委員会では、小学生や中学生を対象とした、松崎町ならではの豊かな自然に親しみ、健康で明るい子どもたちを育てるため、課外学習の場を提供しています。

## 三聖塾夏季宿泊体験学習

教育委員会では、毎年夏休み期間中、小学校5年生の希望者を対象に、道の駅「花の三聖苑」で宿泊体験学習を実施しています。

今年度は41人が参加し、7月29日から8月2日までの4泊5日の日程で、「ふるさと松崎」をテーマに、郷土の三聖苑についての勉強や川遊び、ピオトープ作りなど、さまざまな活動を体験しました。



光る泥だんご作り体験



中高生が講師となった実験教室

それぞれの活動では、町内の方に講師を依頼し、指導をしていただくとともに、社会教育委員や中川コミュニティ委員、教職員の皆様に活動ボランティアとして塾生の活動を見守っていただきました。

本事業も10年目を迎え、350人を超える児童が修了生となりました。この修了生が中高生となり、三聖塾サポーターとして、5日間で延べ63人が参加してくれました。

中高生が、先生として、あるいは、一緒に活動を楽しむ仲間として塾生を支えることも、三聖塾の歴史が感じられる大きな特徴です。

宿泊体験学習中は、三聖苑内への車の進入を制限させていただいたおかげで、安全に活動することができました。皆様のご理解とご協力に感謝いたします。



三聖会堂にて



ピオトープ作りにて

## 松崎町みどりの少年団

松崎町みどりの少年団は、花とロマンのふるさとを愛し、自然に親しみ、心身共に健康で明るく、愛郷心にあふれた実践力のある人間形成を目的として、昭和55年に設立されました。

今年度は、小学校4年生から中学校2年生までの18人が参加し、年間を通して身近にある豊かな自然に触れる活動を実施しています。

8月は、県内各地のみどりの少年団が富士山に集まる2泊3日の交流集會に参加し、洞くつ探検やナイトハイクを行い、富士山の自然を肌で感じてきました。



富士山交流集會

## B&G松崎海洋クラブ

松崎海洋クラブは昭和60年に設立されました。

今年度は、小学校5・6年生12人が参加し、海岸清掃やカヌー訓練をしながら、海や川に親しむ活動をしています。子どもたちは、毎年8月16日に安良里港内で開催される伊豆西海岸カヌー大会に参加するため、5月下旬から8月にかけて、毎週土曜日にカヌー訓練を実施しました。

今年度の大会では、4人が入賞するなど、子どもたちは、練習の成果を十分に発揮しました。

【問合せ】  
教育委員会（42）3971



伊豆西海岸カヌー大会

# 不法投棄は重大な犯罪です!

不法投棄とは?

不法投棄とは、山林や原野、空き地、道路などにみだりに家庭ごみや粗大ごみ、家電製品、建築廃材などのごみを捨てる行為をいいます。

不法投棄の罰則

『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』にて、「何人も、みだりに廃棄物を捨ててはならない。」と定められています。この法律により、不法投棄をした者は、5年以下の懲役もしくは1千万円以下（法人の場合は1億円以下）の罰金が科せられます。



不法投棄された家電製品

不法投棄撲滅に向けて

町では不法投棄を未然に防止するため次のような活動を実施しています。

○ 廃棄物が投棄されやすい場所に不法投棄防止用警告看板の設置。

○ 生活環境課職員等によるパトロール。

○ 広報等による啓発活動  
土地所有者の方へ

不法投棄は、周辺に民家等がない山林の道路沿線や土地の管理が十分でない空き地など、目に付きにくい場所で行われる傾向があります。

不法投棄をした者が判明した場合、不法投棄した者に投棄したごみを撤去処分させることができますが、不法投棄した者を特定できない場合には、投棄されたごみは土地所有者（管理者）の責任で処理することになります。

日頃から次の点に注意して、適正に土地の管理をし、不法投棄されにくい環境づくりを心がけましょう。

○ 雑草を刈り取り、常に清潔に保つ

○ ポイ捨てされてしまったら、早めに片付ける

○ 土地へ車などで簡単に侵入されないために、ロープやフェンスを設置する

○ よく捨てられる場所には看板を設置する

○ 日頃から見回りをし、状況を把握する

廃棄物による環境への影響

不法投棄されやすいプラスチックやビニール製の廃棄物は土に還ることはなく、地域の景観を損ねます。

また、廃家電は有害な物質が漏れたり流れたりすることがあり、土壌や河川、地下水が汚染されるなど深刻な環境問題を引き起こします。

不法投棄を見つけたら

不法投棄の疑いのある現場や、不法投棄をしている人を見かけた場合は、車のナンバーや車種、投棄者の特徴などを、警察または生活環境課に連絡をしてください。

【問合せ】

生活環境課（42）3969

## 松崎文芸

俳句

起ち上る百合のありけり草の中  
縁側にすする二人のところがん  
田舎道山百合残し法を刈る  
夕焼くる漁村悲しきことあまた  
雲の峰伊豆松崎と申す郷  
秋風や行灯の前人ざかり  
用水路ゆきつもどりつ鬼やんま  
分蘖の稲田にしきり水の音  
宇宙への夢果てしなく星祭り  
苦瓜のみどりの簾花つける  
遠花火見え隠れする駿河湾  
蛸の林を歩み人を恋ふ  
願ひ事呟いてみて星祭り  
星祭またの逢瀬の句を作る  
七夕やのぞみまだあり七十余才  
願ひ事片かな文字の星祭り  
子と歌ふ笹の葉さらさら星祭り

山本武男	佐藤享	山本一詞	細田金治	小林忠男	石田宏	小林一男	依田ふじ枝	稲葉文字	吉岡うた子	松田美智子	夏目和子	清水高子	鈴木すみ江	土屋規矩子	稲葉菊恵	斎藤みつ子
------	-----	------	------	------	-----	------	-------	------	-------	-------	------	------	-------	-------	------	-------

### ふるさと納税へのご協力ありがとうございました

昨年度に引き続き、下記の方からふるさと納税をしていただきました。  
ありがとうございました。  
○神鳥美一様（茨城県在住）

### イベント・催し紹介

第11回  
伊豆半島太鼓フェスティバル  
【日時】9月11日（土）  
午後6時から  
【場所】松崎海岸特設ステージ  
【内容】伊豆松崎牛原太鼓をはじめ、県内で活動する太鼓グループ5団体が出演し、勇壮で華麗な演奏を披露します。

# ～ まちのできごと ～

7/24～8/22  
松崎ジュニアボランティアクラブ海岸清掃



海水浴客等でにぎわう夏の期間中、小学生から高校生までの有志約15人が、毎朝6時から約1時間かけて海岸の流木や空き缶、花火などのゴミを集めました。

8/15～16  
夏まつり



岩地、雲見海岸では、8月15日に花火大会が開催されました。翌日の16日には、松崎地区で灯ろう流しや花火大会など多彩な催しが開催され多くの人で賑わいました。

7/29  
図書館夏休み企画「バスケット作り」



図書館では、夏休み企画として「バスケット作り」を開催しました。参加者は、エコクラストを材料に、講師の方に教わりながら、手作りのバスケットを完成させました。

8/19～20  
西豆イングリッシュサマーキャンプ



環境センターでは、西豆地域の中高生を対象に「イングリッシュサマーキャンプ」が行われました。参加した中高生は、ゲームやお菓子作りを通して楽しみながら英会話を学びました。

## 花壇コンクール

8月10日（火）に第33回松崎町花壇コンクール、第18回松崎町街角の花コンクールの審査会が開催され、1日ばかりで19箇所の花壇と3個人の庭等を見させていただきました。

真夏の猛暑の中、1年で最も花の管理が大変な時季にも関わらず、この審査会に合わせて花をきれいに咲かせようと管理している姿に深く敬意を表します。

また、花壇の管理をしている皆様、花作りを通じ、お互いに交流している姿を見させていただき、とても素晴らしく感じました。

ご存じのとおり、松崎町は、昭和53年から「花とロマンのふるさとづくり」をシンボルテーマに、まちづくりを推進しています。

私の目標としている「平成の花とロマンのふる里

づくり」も、こうした花を通じた人々の交流が土台になると考えています。

こうした小グループの活動が集まり、地域や町全体のコミュニティが創出できれば、活気ある町づくりができます。

現在では、若者を中心に地域の交流を敬遠し、地域の間関係が希薄になっていくように感じます。

各地区の花壇を老人会の方だけで管理するのではなく、地域の子どもからお年寄りまで、さまざまな年代の方が集まり、一緒に花づくりをしてください。

そして、来年の花壇コンクールでは、花壇だけでなく、地域やそこに住む人たちの心に今以上のきれいな花を咲かせてください。

松崎町長

齋藤 文彦

## 町長室からこんにちは ㊟



# 21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

## 町の人口と世帯

(平成22年7月31日現在)  
( )内は前月比

総人口	8,048人	(+26人)
男	3,816人	(+16人)
女	4,232人	(+10人)
世帯数	3,160戸	(+6戸)
転入	40人	転出 10人
出生	2人	死亡 6人

## 町の交通事故

平成22年7月31日現在  
( )内は前年同月比

人身事故	3件	(-3)
物損事故	13件	(+5)
死者	0人	(±0)
傷者	3人	(-6)

## 戸籍だより (7月届出分)

### おくりやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈3	越後 富子	95	保 美
江奈2	高木すみゑ	99	啓 造
伏 倉	福田志づ江	89	高橋孝一
江奈2	鈴木 肇	68	森みどり
宮 内	関 喜和子	63	榮 次

### おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
西 区	ふう た 風 太	男	芝村 龍太
南 区	とも き 明 希	男	松原 茂夫



※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

## 保健師だより

### 妊婦の喫煙

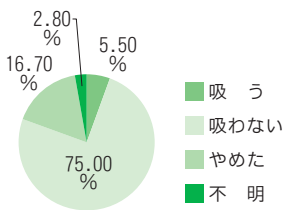
妊娠中の女性の喫煙は、本人だけでなく胎児への影響も大きいと言われています。それは、たばこの煙の中の一酸化炭素やニコチンの影響で、胎児が低酸素状態になるからです。

このため、流産や早産をはじめ、低出生体重児の出生、周産期死亡などの危険が高まると報告されています。

また、出産後の喫煙は、母乳の分泌を低下させるだけでなく、タバコのニコチンが母乳中に分泌されます。1日20本以上タバコを吸う母親の母乳を飲んだ子は慢性ニコチン中毒になり、不眠、嘔吐、下痢、頻尿などを発症した事例もあります。

妊婦の受動喫煙も同様のリスクがあります。妊婦にたばこを吸わせないなどの配慮をしましょう。

### 妊婦の喫煙率



平成21年度妊婦アンケートより  
(母子手帳交付時36人実施)

## 姉妹都市通信

帯広市から

### 「夢降夜」

8月14日〜16日に、第62回おびひろ平原まつりが開催され、初日の夜は、若者たちが企画・運営する祭り「夢降夜2010」が行われました。

今年で9回目の開催となる

夢降夜は、帯広・十勝の基幹産業である農業をテーマに、先人の偉業と十勝の大地の恵みに感謝し、若者の力で地域を元気にしていこうとする祭りです。

五穀豊穣を描いた「男みこし」と「女みこし」の練り歩きや十勝の農業を題材にした踊り、太鼓演奏は、平原まつりの初日を熱く盛り上げていきます。



男みこし(右)と女みこし(左)



オープニングの太鼓演奏

クライマックスでは、十勝の主要な農産物のひとつである小麦の穂を束ねた「黄金穂(こがねほ)」を、観客が思い思いの願いを込めて男みこしの台座に向かって投げ入れられます。この黄金穂は、一度で台座に入れば願いが叶うといわれています。そして、十勝産の小麦で作られたパン2,010個をみこしの上からまく「パンまき」も見どころです。

8月の帯広は、七夕まつりを皮切りに、全国有数の花火大会、平原まつりなどが開催され、街の中は活気があふれています。

この時期の帯広を訪れる機会があれば、ぜひ夢降夜に参加してみませんか。